



KYOWA KIRIN 平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年4月28日

上場会社名 協和発酵キリン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4151 URL <http://www.kyowa-kirin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 譲

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 久我 哲郎

TEL 03-3282-0009

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	99,256	—	11,527	—	11,940	—	6,053	—
21年12月期第1四半期	96,816	△22.8	11,041	△35.3	12,546	△33.2	5,699	△40.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	10.63	10.62
21年12月期第1四半期	9.94	9.94

当社は、21年12月期より決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しております。これに伴い、22年12月期第1四半期(1月から3月まで)と、比較対象となる21年12月期第1四半期(4月から6月まで)の月度が異なるため、22年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	684,773	542,837	78.7	946.72
21年12月期	695,268	540,343	77.1	940.79

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 539,247百万円 21年12月期 535,826百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	10.00	—	5.00	15.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	200,000	—	18,500	—	19,000	—	9,500	—	16.68
通期	400,000	—	36,000	—	37,500	—	20,000	—	35.12

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

21年12月期は、決算期変更により9か月決算となっておりますので、22年12月期の連結業績予想の第2四半期連結累計期間及び通期の対前年増減率については記載しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期第1四半期 576,483,555株 21年12月期 576,483,555株

② 期末自己株式数 22年12月期第1四半期 6,885,251株 21年12月期 6,935,900株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年12月期第1四半期 569,547,362株 21年12月期第1四半期 573,303,195株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成22年1月1日から3月31日までの3か月間)における我が国経済は、依然として厳しい雇用情勢が続いており、国内需要の自律的回復力はなお弱いものの、海外経済の改善などによる輸出や生産の増加を背景に、企業収益は持ち直し基調で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、医薬事業では、国内におけるジェネリック医薬品の普及促進策の進展、欧米製薬企業や専門大手の攻勢、国際的な新薬開発競争の激化など、引き続き厳しい事業環境となっております。バイオケミカル事業では、引き続き中国メーカー等の台頭による価格低下の影響を受けております。化学品事業では、需要の回復が見られるものの、原料価格や為替の動向など予断を許さない状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは、「バイオテクノロジーを基盤とし、医薬を核にした日本発の世界トップクラスの研究開発型ライフサイエンス企業を目指す。」というビジョンを掲げ、多様なニーズに対する新たな価値の提供を通じたグローバルな成長に向けて取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、食品事業(前年同期の売上高96億円)がなくなった影響がありましたが、化学品事業の回復などにより、992億円(前年同期比1.4%増)となりました。利益面では、化学品事業の収益改善や販売費及び一般管理費の発生が前年同期に比べ少なかったこと等により、営業利益は115億円(同328.4%増)、経常利益は119億円(同279.5%増)となりました。また、四半期純利益についても、減損損失などの特別損失を計上した前年同期に比べ、大幅な増益となる60億円(同386.9%増)となりました。

なお、前連結会計年度の決算期変更に伴い、前年同期比については、平成21年3月期連結会計年度(12か月間)から平成21年3月期第3四半期連結累計期間(9か月間)までを差し引いた平成21年1月1日から3月31日までの期間(3か月間)との比較を参考として記載しております。また、以下の事業の種類別セグメントの業績の記載には前年同期に連結しておりました食品事業については記載を省略しております。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

医薬事業

国内の医療用医薬品では、主力製品である貧血治療剤「ネスプ」/「エスポー」、二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」等が伸びましたが、花粉飛散量が少なかった影響により、抗アレルギー剤「アレロック」、抗アレルギー一点眼剤「パタノール」の売上高は前年同期を下回りました。

医薬品の技術収入及び輸出では、抗アレルギー剤オロパタジン塩酸塩を中心とした技術収入が増加したほか、アジア向けの輸出も順調に推移し、前年同期の売上高を大きく上回りました。

この結果、医薬事業の売上高は、496億円(前年同期比1.1%増)となり、営業利益は、研究開発費などの発生が少なかったこともあり、96億円(同87.2%増)となりました。

新薬の開発では、国内で、2月にがん性疼痛治療剤KW-2246の承認申請を、3月に免疫性血小板減少性紫斑病治療剤AMG531の承認申請を行いました。海外では、3月に韓国及び台湾において、二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」の承認を取得しました。

バイオケミカル事業

アミノ酸・核酸関連物質を中心とする医薬・工業用原料は、アジア向けの輸液用アミノ酸や医薬用原料が好調に販売数量を伸ばし、売上高は前年同期を上回りました。また、第一ファインケミカル(株)は、医薬品原薬・中間体等が低調に推移し、売上高が減少しました。

ヘルスケア製品では、通信販売リメイクシリーズの顧客数が順調に増加し、また、健康食品素材なども売上高が前年同期を上回りました。

この結果、バイオケミカル事業の売上高は、222億円(前年同期比6.2%増)となり、営業利益は10億円(同10.2%増)となりました。

化学品事業

世界的な景気後退の影響により製品需要が大きく落ち込んだ前年同期と比べると国内外ともに需要は回復し、販売数量は前年同期を大きく上回りました。特に、海外市況は中国を中心とする旺盛な需要に支えられ好調に推移しました。

この結果、化学品事業の売上高は、連結子会社であるミヤコ化学(株)及び柏木(株)の所属するセグメントをその他事業から化学品事業に変更した影響もあり、302億円(前年同期比154.9%増)となり、営業利益は6億円(前年同期は35億円の営業損失)となりました。

その他事業

その他事業は、セグメント区分の変更の影響により売上高は、24億円(前年同期比82.5%減)、営業利益は0億円(同142.5%増)となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本

食品事業がなくなった影響がありましたが、化学品事業の回復などにより、日本セグメントの売上高は、955億円(前年同期比1.5%増)となりました。営業利益は、研究開発費など販売費及び一般管理費の発生が少なかったことや、化学品事業の黒字転換等により、103億円となり、前年同期に比べ97億円の大幅増益となりました。

その他の地域

医薬事業及びバイオケミカル事業の在外子会社については、おおむね売上高は順調に推移し、その他の地域セグメントの売上高は、124億円(前年同期比19.7%増)となりましたが、営業利益は在外子会社における技術収入の減少等により11億円(同43.6%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ104億円減少し、6,847億円となりました。短期貸付金、受取手形及び売掛金が減少したことが主な要因であります。

負債は、支払手形及び買掛金や未払法人税等が減少したほか、大型設備の完成に伴う支出などにより未払金が減少し、前連結会計年度末に比べ129億円減少し、1,419億円となりました。

純資産は、配当金の支払い等の減少要因もありましたが、四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末に比べ24億円増加し、5,428億円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.6ポイント増加し78.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ57億円減少し580億円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、70億円の収入となりました。主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益113億円、売上債権の減少額47億円、減価償却費42億円等であります。一方、主な支出要因は、法人税等の支払額69億円、仕入債務の減少額59億円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、91億円の支出となりました。有形固定資産の取得による支出95億円等の支出が主なものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、35億円の支出となりました。主な支出要因は、配当金の支払額27億円等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年1月29日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・ 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,800	30,159
受取手形及び売掛金	116,043	120,869
商品及び製品	45,883	43,863
仕掛品	9,933	8,970
原材料及び貯蔵品	10,197	10,971
繰延税金資産	9,322	9,250
短期貸付金	34,209	40,342
その他	11,801	12,313
貸倒引当金	△151	△153
流動資産合計	267,040	276,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	148,636	146,096
減価償却累計額	△108,025	△107,203
建物及び構築物(純額)	40,611	38,893
機械装置及び運搬具	205,977	204,828
減価償却累計額	△180,645	△178,836
機械装置及び運搬具(純額)	25,332	25,992
土地	71,987	71,993
建設仮勘定	18,172	17,588
その他	51,020	51,413
減価償却累計額	△43,062	△43,321
その他(純額)	7,958	8,091
有形固定資産合計	164,061	162,559
無形固定資産		
のれん	167,682	170,054
その他	3,881	4,067
無形固定資産合計	171,564	174,122
投資その他の資産		
投資有価証券	66,357	66,422
長期貸付金	503	496
繰延税金資産	3,991	4,263
その他	12,652	12,267
貸倒引当金	△1,397	△1,451
投資その他の資産合計	82,107	81,998
固定資産合計	417,733	418,680
資産合計	684,773	695,268

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,953	48,965
短期借入金	12,153	12,690
未払金	22,242	32,364
未払法人税等	5,023	7,312
売上割戻引当金	241	283
賞与引当金	3,244	1,225
修繕引当金	1,396	1,051
その他	8,303	5,944
流動負債合計	95,558	109,838
固定負債		
長期借入金	359	537
繰延税金負債	14,963	14,646
退職給付引当金	26,440	27,268
役員退職慰労引当金	110	107
その他	4,503	2,526
固定負債合計	46,376	45,086
負債合計	141,935	154,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	512,391	512,398
利益剰余金	10,299	7,093
自己株式	△6,880	△6,932
株主資本合計	542,555	539,304
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	697	475
繰延ヘッジ損益	3	3
為替換算調整勘定	△4,008	△3,956
評価・換算差額等合計	△3,307	△3,478
新株予約権	147	196
少数株主持分	3,441	4,321
純資産合計	542,837	540,343
負債純資産合計	684,773	695,268

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	96,816	99,256
売上原価	52,298	55,155
売上総利益	44,517	44,100
販売費及び一般管理費		
研究開発費	9,332	9,057
のれん償却額	2,346	2,325
その他	21,797	21,189
販売費及び一般管理費合計	33,476	32,572
営業利益	11,041	11,527
営業外収益		
受取利息	158	97
受取配当金	1,042	49
為替差益	—	36
持分法による投資利益	743	337
その他	513	442
営業外収益合計	2,457	963
営業外費用		
支払利息	83	69
為替差損	206	—
固定資産処分損	296	243
その他	365	237
営業外費用合計	952	550
経常利益	12,546	11,940
特別損失		
退職給付制度改定損	—	577
持分変動損失	1,379	—
投資有価証券評価損	354	—
特別損失合計	1,734	577
税金等調整前四半期純利益	10,812	11,363
法人税等	4,983	5,366
少数株主利益又は少数株主損失(△)	129	△57
四半期純利益	5,699	6,053

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,812	11,363
減価償却費	4,032	4,297
のれん償却額	2,393	2,372
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	195	△825
前払年金費用の増減額 (△は増加)	156	△391
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,632	2,020
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	△53
受取利息及び受取配当金	△1,200	△146
支払利息	83	69
持分法による投資損益 (△は益)	△743	△337
有形固定資産除売却損益 (△は益)	53	67
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	354	20
売上債権の増減額 (△は増加)	△258	4,742
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,487	△2,286
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,055	△5,901
その他	△780	△1,859
小計	13,893	13,152
利息及び配当金の受取額	1,210	903
利息の支払額	△102	△61
法人税等の支払額	△12,762	△6,965
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,238	7,029
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,930	△9,519
有形固定資産の売却による収入	13	19
投資有価証券の取得による支出	△2,016	△291
投資有価証券の売却による収入	2,023	17
定期預金の預入による支出	△1,069	△1,526
定期預金の払戻による収入	1,902	2,361
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	5,054	△0
その他	△62	△197
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,915	△9,136
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△25	△548
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	15,000	—
長期借入金の返済による支出	△39	△179
自己株式の取得による支出	△3,835	—
配当金の支払額	△5,267	△2,702
少数株主への配当金の支払額	△19	△30
その他	△71	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,742	△3,506
現金及び現金同等物に係る換算差額	337	△113
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,234	△5,725
現金及び現金同等物の期首残高	69,286	63,745
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	393	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△214	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	79,699	58,019

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	医薬 (百万円)	バイオ ケミカル (百万円)	化学品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	52,059	19,234	13,649	11,872	96,816	—	96,816
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	152	1,910	1,384	2,323	5,770	(5,770)	—
計	52,211	21,145	15,034	14,195	102,586	(5,770)	96,816
営業利益又は営業損失(△)	11,570	1,277	△2,073	184	10,960	81	11,041

当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）

	医薬 (百万円)	バイオ ケミカル (百万円)	化学品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	49,650	19,712	29,041	852	99,256	—	99,256
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	23	2,500	1,239	1,641	5,406	(5,406)	—
計	49,674	22,213	30,281	2,493	104,662	(5,406)	99,256
営業利益	9,678	1,010	674	82	11,446	81	11,527

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	88,894	7,922	96,816	—	96,816
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,917	2,312	6,229	(6,229)	—
計	92,811	10,234	103,045	(6,229)	96,816
営業利益	9,440	1,179	10,619	421	11,041

当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）

	日本 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	89,499	9,757	99,256	—	99,256
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,099	2,719	8,819	(8,819)	—
計	95,599	12,476	108,075	(8,819)	99,256
営業利益	10,373	1,160	11,534	(7)	11,527

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	4,738	5,996	7,627	82	18,444
II 連結売上高（百万円）					96,816
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	4.9	6.2	7.9	0.1	19.1

当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	5,162	5,687	8,991	113	19,955
II 連結売上高（百万円）					99,256
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	5.2	5.7	9.1	0.1	20.1

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

添付の「協和発酵キリン 第1四半期決算短信 補足資料 ー第88期（2010年12月期）ー」をご覧ください。